

# 東光コンサルタンの技術短信 No.12 ( 港湾 )

## 費用対効果分析

## 費用対効果分析を行う目的

近年、公共事業全般にわたって、より一層の事業の効率的な執行および透明性の確保が求められており、事業採択前から事業完了に至るまでの事業の実施過程の透明性と客観性を確保し、より効率的な事業の執行を図るため、事前評価、再評価および事後評価からなる事業評価制度が導入されています。

このような、公共事業の実施に係わる客観的な判断材料の一つとして、費用対効果分析が用いられています。

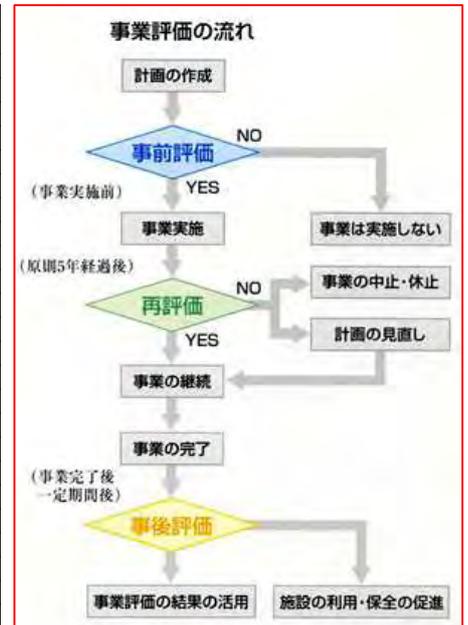
## 費用対効果分析業務の実績

当社は港湾・漁業分野においても、調査・計画から設計まで幅広く営業しており、様々な方面で質の高いサービスを提供いたします。

その中には、港湾・漁業分野における費用対効果分析業務の実績も多く、平成11年から現在に至るまでの実績は、漁業分野41件、港湾分野22件、海岸分野4件の合計67件となっています。

漁港関係事業費用対効果分析業務実績表(最近5ヶ年度)

時期	件名	発注機関名
平成13年01月	安指漁港他2漁港費用対効果分析業務委託	和歌山県 串本町
平成13年02月	小本漁港計画調査業務委託	岩手県 岩泉町
平成13年03月	平成12年度初島漁港及び千田漁港費用対効果分析調査業務委託	和歌山県 有田市役所
平成13年03月	平成12年度大島漁港施設改修調査委託工事	福岡県 水産林務部 漁港課
平成13年03月	勝浦漁港他5港調査業務委託	和歌山県 勝浦漁港事務所
平成13年03月	太地漁港費用対効果分析業務	和歌山県 太地町役場
平成13年03月	大引漁港費用対効果分析調査業務	和歌山県 上良町役場
平成13年10月	志戸子漁港整備事業費用対効果分析調査業務委託	鹿児島県 上屋久町
平成13年12月	串木野漁港単漁港整備設計委託(費用対効果分析調査修正)	鹿児島県 伊集院土木事務所
平成14年01月	西之浜漁港単漁港整備調査委託	鹿児島県 鹿児島土木事務所
平成14年03月	第67号古仁屋漁港単漁港整備設計調査委託	鹿児島県 大島支庁 瀬戸内事務所
平成14年03月	海瀨漁港単漁港整備費用対効果分析調査委託(合併)	鹿児島県 鹿屋土木事務所
平成14年03月	早町漁港調査委託(費用対効果分析・浸水調査)	鹿児島県 喜界事務所
平成14年03月	知名漁港単漁港整備(合併)設計委託	鹿児島県 大島支庁 沖永良部事務所
平成14年09月	田辺漁港海岸環境整備工事(調査業務委託)	和歌山県 田辺漁港事務所
平成15年03月	志戸子漁港費用対効果分析調査業務委託	鹿児島県 上屋久町
平成15年03月	第88号古仁屋漁港単漁港整備環境基本計画調査委託	鹿児島県 大島支庁 瀬戸内事務所
平成15年03月	上野漁港北防波堤他設計業務委託	和歌山県 御坊市役所
平成16年03月	第67号古仁屋漁港単漁港整備設計委託	鹿児島県 大島支庁 瀬戸内事務所
平成16年09月	船瀬地区漁村づくり総合整備事業費用対効果分析業務委託	和歌山県 串本町
平成17年02月	志戸子漁港沖防波堤基本実施細部設計業務委託	鹿児島県 上屋久町
平成17年03月	第20号浦田漁港単漁港整備調査委託	鹿児島県 熊毛支庁 土木課
平成17年03月	口永良部漁港単漁港整備設計委託	鹿児島県 屋久島事務所
平成17年03月	知名漁港単漁港整備設計委託(海岸整備計画検討)	鹿児島県 沖永良部事務所
平成17年03月	上野漁港中突堤設計業務委託	和歌山県 御坊市役所
平成17年03月	芳養漁港(井原地区)費用対効果分析及び護岸基本設計業務	和歌山県 田辺市
平成18年02月	松川浦漁港事後評価業務委託	福島県 相馬港湾建設事務所
平成18年03月	内之浦漁港単漁港整備(基本計画作成)業務委託	鹿児島県 鹿屋土木事務所
平成18年03月	知名漁港単漁港整備設計委託(漁港整備基本計画)	鹿児島県 沖永良部事務所



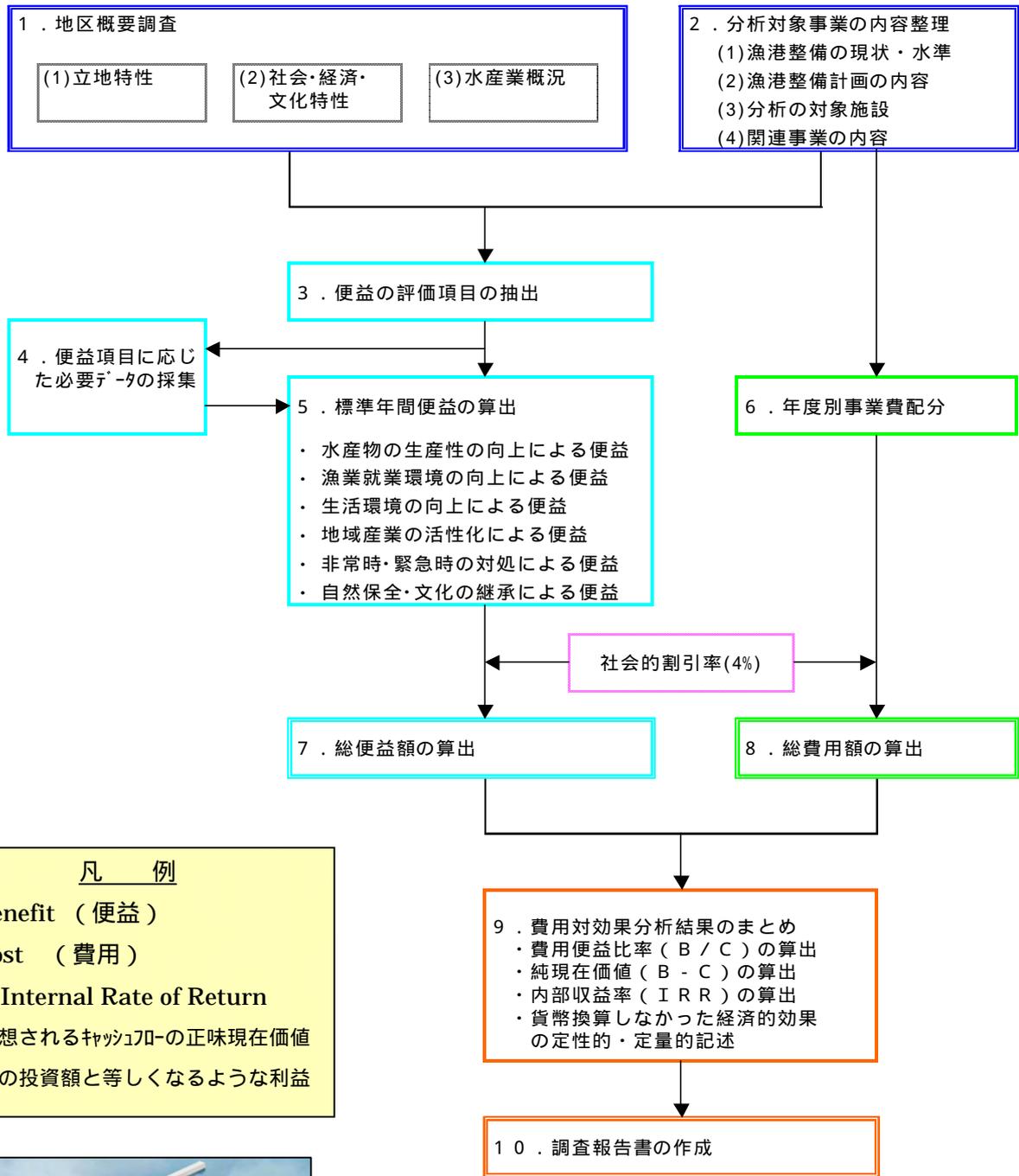
評価の結果は、類似事業の重要な参考資料となります。

## 雑学 12 特定第3種漁港とは

平成14年度統計で全国に2929漁港があり、漁船の利用範囲によって漁港漁場整備法第5条及び第19条の3に基づき、第1種～第4種漁港まで4段階に分類され、また特定第3種漁港という区分が別途有ります。特定第3種漁港は水産業の振興上特に重要な漁港で政令で定めるものを言い、食卓にのぼる魚類の約30%は特定第3種漁港で水揚げされています。全国に13港あり、八戸漁港・気仙沼漁港・銚子漁港・三崎漁港・焼津漁港・下関漁港などが有名です。

# 東光の“漁港整備事業 / 費用対効果分析”の方法

費用対効果分析の調査内容および手順は、次のフロー図のとおりです。(漁港整備事業の例)



**凡 例**

B : Benefit ( 便益 )

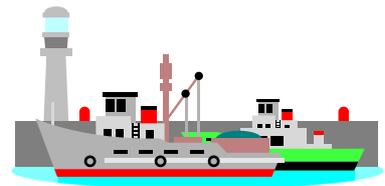
C : Cost ( 費用 )

IRR : Internal Rate of Return

将来予想されるキャッシュフローの正味現在価値が現在の投資額と等しくなるような利益



費用対効果分析の調査フロー図



株式会社 東光コンサルタンツ

技術本部

担当営業:

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32番1号

TEL: 03-5950-7203 FAX: 03-5950-3652

URL: <http://www.tokoc.co.jp>

担当: 福岡支店技術第三部 香月、時田

制作: (株) トーコー総研